

# デザインの概念とその広がり

## 社会的理解をめざして

昨今の社会および自然環境における諸課題のもとで、都市および地域の持続性を支える空間計画、施設計画・設計、マネジメントを推進するためには、既存の枠組みや空間単位を柔軟に横断・反復することが不可欠である。こうした多様な計画・設計・マネジメントの有機的統合を図るため、可視的で統合的な概念である「デザイン」への期待が高まっており、デザインをめぐる知の構築が求められている。

本シンポジウムでは、デザイン領域の広がり、造形デザインの価値、情報科学とデザイン、デザインの主体、自然と人間の関係構築のためのデザインなど、多様な視点から都市・地域をめぐるデザインについて考え、デザインすることの意味と可能性、幅広い価値の伝え方などについて議論する。地域の価値を高め、人々のウェルビーイングとソーシャル・キャピタルの充実をはかり、経済価値をもたらすことを通じて持続的な都市・地域の実現に資するデザインのあり方に向けた手がかりを得る。

オンライン開催

お申込はこちら



2023年2月4日(土)13:00～17:10

<https://forms.gle/TiT5YBgYBBBww7>

(解題) 都市・地域をめぐるデザインへの問い

佐々木 葉・早稲田大学

デザインの社会的認識と評価

田中 一雄・GK デザイングループ

情報学におけるデザイン・デザインにおける情報学

中小路 久美代・公立はこだて未来大学

デザインの主体をひろげるーコ・デザインの可能性

上平 崇仁・専修大学

自然と人間をつなぐ土木デザイン

星野 裕司・熊本大学

総合討論 パネリスト：古谷 誠章・早稲田大学、講演者

コーディネーター：佐々木 葉



SASAKI, Yo



TANAKA, Kazuo



NAKAKOJI, Kumiyo



KAMIHIRA, Takahito



HOSHINO, Yuji



FURUYA, Nobuaki